<短 報>

本邦における男性同性愛経験者の B 型肝炎ウイルス感染状況について

溝上 雅史 徳田 泰司 折戸 悦朗 野尻 修
 亀島 信利 山本 正彦* 磯村 思无**

はじめに：今回、我々は本邦における男性同性愛経験者（Homo）の B 型肝炎ウイルス（HBV）感染状況について調査したので報告する。

対象：対象は、昭和61年2月から62年3月までの間に採血可能であった Homo 249名でほとんどが両性愛者で、平均年齢は 35.0 ± 10.0 歳で、16歳から70歳まで幅広く分布していた。

方法：HBV marker は、全例についてまず HBs 抗原を r-PHA 法で検査し、HBs 抗原陽性の場合、RIA 法（Dainabot 社 kit.）で HBe 抗原、抗体と HBc 抗体を200倍希釈で測定した。一方、HBs 抗原陰性の場合、HBs 抗体、HBc 抗体をいずれも RIA 法（Dainabot 社 kit.）にて測定した。測定方法及び判定方法は kit. の説明書に従った。又、HBs 抗原陽性で、HBc 抗体200倍希釈で %Inhibition 90%以上のとき、HBV carrier とした。

又、免疫能を測定する目的で、同時に採血した末梢リンパ球を Spectrum-III を使用して OKT 4 と OKT 8 を249名中237名について測定し、OKT 4/OKT 8 (OKT 4/8) を算出した。

一方、homosexual life については、採血時にアンケート調査し、結果報告時にその内容について再 check し正確を期した。

成績：HBV 感染率については HBV carrier (carrier 群) が11名、4.4%であった。一般的に本邦における carrier rate の1~2%に比較するとあきらかに高値であった。又、これら carrier 群の HBe 抗原、抗体については、HBe 抗原が3名、HBe 抗体が5名、両者陰性が2名、不明1名であった。

一方、HBs 抗原陰性群の中で HBs 抗体、HBc 抗体両者又は一方が陽性者（抗体陽性者群）は99名、39.8%であり、44.2%が HBV 感染を受けていることになる。従って、残り139名、55.8%が HBV 未感染と思われた (Table 1)。

Table 1 Status of HBV infection among 249 homosexual men in Japan.

HBV status	cases
HBV carrier	11(4.4%)
Anti-HBs antibody positive and/or Anti-HBc antibody positive	99(39.8%)
All HBV markers negative	139(55.8%)

Table 2 OKT4/OKT8 subpopulations among 237 homosexual men in Japan.

OKT4/OKT8 ratio	cases
$1.0 \leq \text{OKT4/OKT8}$	190(80.2%)
$0.8 \leq \text{OKT4/OKT8} < 1.0$	27(11.4%)
$0.6 \leq \text{OKT4/OKT8} < 0.8$	15 (6.3%)
$\text{OKT4/OKT8} < 0.6$	5 (2.0%)

OKT 4/8では、237名が測定可能であったが、その中で正常域とされる1.0以上が190名(80.2%)、軽度低下である0.8~1.0が27名(11.4%)、中等度低下である0.6~0.8が15名(6.3%)で、高度に低下していると思われる0.6以下が5名(2.0%)存在した (Table 2)。

同時に測定した抗 Human Immunodeficiency Virus (HIV) 抗体は全例陰性であった。

考案：欧米の一般人における HBV carrier rate は本邦に比し極めて低いのに対し、欧米の Homo の HBs 抗原陽性頻度は、5~8.7%¹⁻³⁾と信じられないほどの数字である。更に、抗体陽性率まで含めると、その陽性率は約60%となる^{2,3)}とされている。

更に、HBs 抗原陽性 Homo 中、65%は HBe 抗原であったと報告されている²⁾。

一般に HBV carrier 中の HBe 抗原陽性率は加齢につれ減少するが、これら Homo の平均年齢29歳を加味しても、HBe 抗原陽性率は高いと思われる。これらのことは、HBV 感染後まだ日時がたっていない、つま

* 名古屋市立大第2内科

** 愛知県衛生研究所

り、成人になった後 homosexual 行為により HBV に感染し、HBV carrier 化しているためと考えられている。

これに対し、本邦では、HBV carrier の成立はほとんどが母児感染によると考えられ、成人の初感染は HBV carrier 化しない、又は極めて稀とこれまで考えられてきた。

しかし、今回の我々の本邦における Homo の HBV 感染状況の成績からは、HBV carrier rate は欧米における Homo 程高率ではないが、本邦における一般人よりは明らかに高率であった。このことは、本邦でも Homo では、成人感染による HBV carrier 化は起こっていると推定される。

この原因として、既に報告⁴⁾されているが、Homo は homosexual 行為に伴う各種要因にて免疫能が低下することが多いことが考えられる。

事実今回の成績でも、Homo 中 OKT 4/8 が 0.6 以下の人が、237 名中 5 名 (2.1%) に存在した。これら OKT 4/8 比の低下した人は homosexual 行為で HBV に初

感染すると、乳幼児と同様に HBV carrier となった可能性が考えられる。従って、この免疫能の低下が本邦における Homo の HBV carrier rate を一般人より高くしている理由と考えられる。

一方、本邦において欧米における Homo の HBV carrier rate 程高率となっていないのは、本邦は HBV 蔓延地帯であるために、免疫能の正常な Homo にとっては homosexual 行為による HBV 感染を、既感染による免疫で予防してしまう可能性と、今回の対象者には、免疫能を特異的に落とす HIV 感染者及び静注薬剤常習者がいなかった理由が考えられた。

以上より、今後本邦においても家族歴のない成人 HBV carrier 男性には一度 homosexual life の有無についても問診する必要があると思われた。

- 文 献：1) Ellis Wr, et al: Lancet 1:903, 1979 2) Schreeder MJ, et al: J Inf Dis 146: 7, 1982 3) Bleeker ANS, et al: Br J Vener Dis 57: 196, 1981 4) Gotlieb MS: Med Clin North Amer 70: 651, 1986

Hepatitis B infection among homosexual men in Japan

Masashi MIZOKAMI, Hiroshi TOKUDA, Etsuro ORITO, Osamu NOJIRI,
Nobutoshi KAMESHIMA, Masahiko YAMAMOTO* and Shin ISOMURA**

* Second Department of Internal Medicine, Medical School, Nagoya City University (Nagoya)

** Aichi Prefectural Institute of Public Health (Nagoya)